

I 研究の内容

1 研究主題

「子どもが自ら学び、表現し、考える力を高める指導法の工夫」～2年次～

2 主題設定の理由

「生きる力」のベースとして国語力がある。書かれている文や、問題を捉えることができなければ、課題を解決するまで至らない。国語科における基礎基本や活用力が他の教科にもよい影響を及ぼしていることは、昨年度の研究の成果としても現れている。学力を支えるものとして「国語力」がある。そこで本年度の研究の中心に「国語科」をあて、研究を進める。その際、喫緊の課題として自ら学び、判断し、表現する「力」が求められ、そこに「アクティブ・ラーニング」という概念が出されている。アクティブ・ラーニングは、今後の日本に必要な力でもある。コミュニケーション力、多様な考えとの交流、他の意見を認めるといった課題は、本校のような少人数の学校にも必要なことである。以上の理由から本年度の校内研究は、昨年度の内容をふまえ、さらに発展させた国語科を中心とした2年目の研究とする。

3 研究仮説

授業にアクティブ・ラーニングを導入しその方法を指導することで、児童が根拠をもって、思考し、判断し、互いに表現する場が設定される。すると集団の中で、児童は自ら学び考える力を身につけ、小集団の中でも多様な考えに触れる場面を工夫することで自らの思考を再構築させることができる。結果として一人一人に確かな学力をはぐくむことができるだろう。

4 研究の内容

(1) 個を育て、個をきたえる指導の工夫

(2) 集団の中で意見を出し、他の意見を認め、自らの考えを深める指導の工夫(AL)

(3) 家庭との連携

(ア) 家庭学習への取り組み…低学年・高学年における家庭学習指導の実際

(イ) 学校便り「岩手っこ」の発行(家庭教育・子供の発達と学習 等)

5 研究の方法

(1) 全体研究会…学校全体での研究の課題を確認し、情報を共有する。

(2) 研究授業…ブロック研究授業、一人一実践授業を行う。

(3) 校内研修…効果のあった方法や工夫などを互いに提示する。

(4) 学校全体での取り組み…おたより「岩手っこ」の発行を行う。

II 成果と課題

1 成果

(1) 昨年度から継続した研究であり、研究内容が具体的に見えてくる主題であった。

アクティブ・ラーニングを授業に取り入れることで学力向上，思考判断表現の向上につながる研究がなされた。

- (2) 昨年度の成果と課題をふまえた設定理由が明確であり，本校の教育目標，基本方針，努力点と具体策が具現化されていて，喫緊の課題とも合致していた。
- (3) アクティブ・ラーニングの導入は，児童一人ひとりの思考力を高め，小集団の中での発表，意見交流により，個の思考がより高められるという仮説が明確であった。
- (4) 「基礎基本の習得」「集団思考と個の思考を促す指導」「家庭との連携」の三つの柱の組み立てが明確であった。集団思考と個の思考を意識することで主題に迫ることができた。
- (5) 実践を通して研究の内容を検討することができた。ブロック内で学年での取り組みを確認し，互いに学び合うことができた。また，全体研において研究内容の整合性が図られた。
- (6) 国語科の指導を通して，アクティブ・ラーニングの手法を導入することで個で思考を深めることができた。また，討論することで集団の力の育成を図ることができた。

2 課題

- (1) 討論につながる学習技能（力）の習得と具体的な指導法についての共通理解を行うことが必要である。
- (2) 45分授業の中で討論的な授業の展開が可能となる指導内容，方法を工夫することが必要である。
- (3) 少人数でのメリットを生かし，デメリットを克服するような指導法の工夫が必要である。
- (4) 家庭学習についての発達段階に応じた取り組みの系統を提案する。

III 成果物

1 授業実践指導案及び記録（※印は全体研究授業・他はブロック研究授業）

- (1) 1学年 ----- 国語「くじらぐも」※ ----- 三枝清美教諭
- (2) 2学年 ----- 国語「お手紙」 ----- 関口若子教諭
- (3) 3学年 ----- 国語「ちいちゃんのかげおくり」 ---- 山宮将仁教諭
- (4) 4学年 ----- 国語「プラタナスの木」 ----- 今井郁子教諭
- (5) 5学年 ----- 国語「大造じいさんとガン」 ----- 雨宮久教諭
- (6) 6学年 ----- 国語「やまなし」※ ----- 飯室林教諭
- (7) おおぞら教室 - 国語「お話をきいてもらおう」 ----- 武井敏江教諭
- (8) さくらんぼ教室 国語「アップとルーズで伝える」 ---- 津野千尋教諭

2 家庭への通信「岩手っ子」内容

- | | |
|-------------|-------------|
| 1号 家読のすすめ | 4号 食と学力 |
| 2号 スマホの危険性 | 5号 非認知能力と学力 |
| 3号 子どもたちの姿勢 | 6号 学力と運動 |